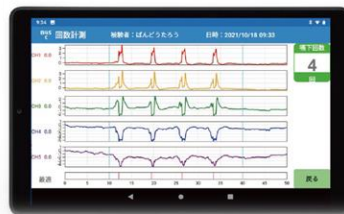


嚔下運動モニタ

B4S™



Q&A

よくある質問をQ&Aにまとめました。
困った際には、まず本書を確認してください。

質問がございましたらお気軽にお問合せください。

お問合せ先

バンドー化学株式会社

佐藤敦司

Email : atsushi.sato@bandogrp.com



製品特設ページ

Q	A	参照
本体の上下はどっち向きに持っても良いのか？	本体に表示しております緑色のシールのBANDOの文字が正しく読める向きで本体をお持ちください。逆向きに持った場合、アプリでの波形の並びが逆順になり、正しく計測できません。	「測定のコツ」 P4
訓練時にB4S本体を被験者が持つことは可能ですか？	言語聴覚士(セラピスト)が持つ方法が基本です。慣れてきたら被験者ご自身が持つことも可能です。CSセンサが正しく押し当てられ(目安:センサ中央のCH3・CH4を喉頭隆起に当てる)、計測中に押し当てが不安定にならない、言語聴覚士(セラピスト)の指示と画面指示に従って扱える方であれば可能かと思えます。	「測定のコツ」 P4~P7

Q	A	参照
本体を使用していないと何分で自動的に電源オフになりますか？	電源の切り忘れ防止のためにオートオフ機能があります。タブレット端末と無線接続していない状態(本体LEDは点滅状態)で5分経過後に自動で電源がオフになります。	「取扱説明書」 P15
B4S本体の乾電池は何時間使用できますか？	新品のアルカリ乾電池を使用した場合で、連続駆動時間12時間程度です。 電池残量はアプリで確認することができます。 使用中に電池残量が低下すると電池交換を促すメッセージがアプリで表示されますので、表示されたら電池を交換するようにしてください。	「取扱説明書」 確認方法 P15 メッセージ P27 電池交換 P7

Q	A	参照
嚥下回数の検出精度はどのくらい？	藤田医科大学にてB4Sの精度検証する際に、摂食嚥下障害患者を対象に測定を行っており、2021年8月の日本摂食嚥下リハビリテーション学会にて、良好な感度(98%)を得たと発表頂いております。	「製品概要と特長」 P13
CSセンサの伸び量はなぜ0.5mm以上を最適としていますか？	被験者の喉から離れてしまうと検知することができませんので、確実に押し当てられている判断基準として0.5mmとしております。	—
0点合わせ(校正)しても、CSセンサ出力値が0にならず、0.1とかになります。問題ないですか？	使用環境による影響で、校正直後でも0.0ピタリとならずに、±0.1程度になることがあります。問題はございません。0.5mm以上ズレたと機器が判断した場合には、再度、校正を促すメッセージが出ますので、画面指示に従って校正をお願いします。	「取扱説明書」 P14
CSセンサをどのくらいの力で押し当てれば良いのか？	全CHの伸びが0.5から5.0mmに収まると装着状態インジケータが灰色から緑色に変わります。喉頭隆起位置のセンサがいちばん伸びますが、このCHが3~4mm伸びる程度が安定的に測定できます。CSセンサが5.0mm以上伸びると装着状態インジケータが灰色になります。緑色は目安ですので灰色の状態でも計測を開始することは可能です。被験者が息苦しくならないよう、強すぎないか確認しながら使用してください。	「測定のコツ」 P6~P7

Q	A	参照
計測開始したら、緑の装着状態インジケータが消えますが測定可能ですか？	計測開始したら、緑の装着状態インジケータは消えます。装着時の押し当て状態を維持して測定してください。	—
喉頭位置が高く、3～4本目のセンサを喉頭に押し当てられない方も測定できますか？女性に多く見られるようです。	喉頭の位置が高く、顎に当たってしまって上手くB4SのCH3付近を喉頭に押し当てられない被験者では、CH2を押し当てるようにして計測を行ってください。無理に位置を合わせて顎に乗り上げてしまうと、喉とセンサの間に隙間ができ、喉頭の挙動を検知できない恐れがあります。隙間なく押し当てられていることは、装着状態インジケータで確認できますので、押し当て方を確認してから計測を行ってください。	「測定のコツ」 P10
メンデルソン手技を行うケースは限られますが、それ以外の訓練で使用できますか？	嚥下訓練でメンデルソン手技を行うケースは限られますが、通常嚥下の可視化もできますので、メンデルソン手技に限らずご使用いただければ幸いです。	—
嚥下回数は何回まで測れますか？	最大で15回までです。嚥下の自動判定プログラムでは、嚥下の間隔が2.0秒未満の早いペースの場合は、嚥下ではないと判断して除外するようにしております。そのため、30秒間を均等のペースで嚥下した場合でも最大で15回までです。	「測定のコツ」 P11

Q	A	参照
<p>きれいな波形が取れているのに嚥下回数が正しくカウントできないことがあるが、なぜか？</p>	<p>33秒間(30秒+3秒)の測定の間、CSセンサを装着した状態で安静を保ってください。押し当て状態が変化すると波形はきれいでも基線の変化により誤判定につながる可能性があります。正しくカウントされない他の要因を下記に挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚥下のペースが速すぎる(嚥下間隔2.0秒以下) ・被験者への押し当てが適切でなく、喉表面からセンサが離れてしまっている。 ・被験者の喉頭隆起が非常に小さい。(目視や触診でも喉頭位置を判別できない方の検知はできない場合が多いです) 	<p>「測定のコツ」 P6～P9</p>
<p>波形の立ち上がり量と喉頭の挙上量は関連していますか？</p>	<p>波形の立ち上がり量はセンサの伸び量で示しております。喉頭の挙上量との関連はございません。</p>	<p>「製品概要と特長」 P7</p>
<p>どんな患者でも測定できますか？</p>	<p>意思疎通の可能な方(嚥下の指示が通る方)が対象となります。視診や触診で判別が難しいほど喉頭の動きが小さい方では正しく計測できないおそれがあります。また、喉に外傷等がある方にはご使用にならないようお願いします。</p>	<p>「測定のコツ」 P3</p>

アプリ・タブレットに関して

Q	A	参照
病院で使用しているタブレットで 使用することができますか？	付属のタブレットでのご使用となります。	「取扱説明書」 P25
付属のタブレットスタンドでは低 い場合は高さ調整をどのように したらよいですか？	嚥下訓練を実施する際は、正しい姿勢で目線を併せてタブ レット端末を設置してください。タブレットが目線に対して 低い場合は、タブレットスタンドの下に箱等を置いて高くし てください。ご使用場所にあわせて工夫して頂き、高さを 調整するようお願いいたします。	「測定のコツ」 P4 「取扱説明書」 P6
被験者ID入力で使用できる文字 は？	半角英数字(A, a, 1)、全角かな(あ)、一部の記号(-, _)が 使用できます。	「取扱説明書」 P13
“ペアリング情報がありません” のメッセージが出て、使えなくな りました。何が問題ですか？	まれに、使用環境により、何らかの理由でペアリング設定が 解除されてしまうケースがあります。その場合は、設定画面 にて再度設定して、ご使用ください。 タブレットはB4S専用でご使用頂き、他のアプリのインス トールはしないでください。ペアリング設定が解除される ケースがあります。	「取扱説明書」 P25

メンテナンスに関して

Q	A	参照
CSセンサの清掃方法は？	消毒用アルコール等を含ませた布やガーゼ等で接触部を軽く拭いて下さい。清拭後は必ず乾かしてからご使用ください。乾燥時間の目安は自然乾燥5分～15分(推奨は15分以上)です。	「取扱説明書」 P29
消毒:アルコール綿以外でも可能か？	消毒用アルコールでの清掃をお願い致します。(その他の消毒方法での耐性を確認しておりません)	「取扱説明書」 P29
CSセンサの交換メッセージが出ていますが、使用可能ですか？	センサの耐用期間が200時間となり、センサ交換のメッセージが出ると使用不可になります。センサを交換して頂くタイミングになりますので、交換するようお願いします。	「取扱説明書」 P30
CSセンサを付け直したら、使用時間がリセットされないか？	同じCSセンサを付けなおしても使用時間はリセットされません。(累積使用時間はCSセンサ内に記録されています)	「取扱説明書」 情報の確認 P15
B4S本体、タブレットは故障時に修理できますか？	修理は承っておりません。保証期間内での交換、保証期間外では買い替えでのご対応とさせて頂いております。詳しくは販売店にお問い合わせください。	—
B4S本体ケース・タブレットスタンドを落として壊してしまいました、交換できますか？	無償で交換させて頂いております。販売店にお問い合わせください。	—

メンテナンスに関して

Q	A	参照
CSセンサって？ (C-STRETCHって何？)	弊社が独自に開発したストレッチセンサです。詳しくは当社ホームページをご覧ください。	「製品概要と特長」 P3
B4Sを使うことで、診療報酬点数は適用されますか？	B4Sを使用することによる診療報酬点数の適用はございません。	—
学会での発表、論文はありますか？	2023年9月時点で、8件の学会発表がございます。	「製品概要と特長」 P11